

平成 27 年度

第 4 回 南伊豆町総合教育会議議事録

| | | |
|-------|---------------------------------------------|-----------|
| 日 時 | 平成 27 年 12 月 16 日 (水) 15 時 30 分から 16 時 25 分 | |
| 場 所 | 南伊豆町役場 3 階 会議室 | |
| 出席者 | 町 長 | 梅 本 和 熙 |
| | 委員長職務代理者 | 白 井 善 吾 |
| | 教 育 長 | 小 澤 義 一 |
| | 委 員 | 萩 原 利 恵 子 |
| 説明出席者 | 事 務 局 長 | 大 野 孝 行 |
| | 学 校 教 育 係 長 | 白 井 秀 治 |
| | 社 会 教 育 係 長 | 小 嶋 淑 子 |

1 開 会

大野事務局長 開会を宣言し、欠席者 2 名、議長は町長が務める旨述べ、進行を議長に依頼する。

2 議 事

梅本議長 議事録署名人について、教育長及び議長が務めることを述べ、議事に入る。

議事（1）平成 28 年度当初予算要求について事務局の説明を求める。

資料に基づき、28年度重点施策について、各係長から説明。
事務局長から学校教育、社会教育のポイントについて補足説明。

梅本議長 人口減少が、予算にも影響を及ぼしているのも事実。例えば、複式学級の学習支援員の問題等、この辺はやっていかなければならないと思っ
てはいるが、いずれはどうしていくのかとか、町史編さん事業で 874
万円というものがあるんですが、これは今「寺院編」が 1 冊出来ただけ
とのことですが、これを最終章まで作るとなると時間も相当かかるし、
予算も毎年毎年これだけのものを用意していくのもいかなものかとい
うことも議論として出てこなくてはいけないなど・・・町の歴史をしっ

かり残しておくことは大事ですが、本当にこのやり方でいいのかという議論を委員の方からも意見としていただきたいなという気は当局としてもあります。

学校教育の中の学習支援員の件についてはちょっとやせ我慢しながらでも出していきたいなと思うんですけど、その辺も含めて皆様方の意見をいただけたらなと思います。

白井代理者 文化財は、町のほうから頼んでいるからお金がかかる訳？

事務局長 そうですね。町がお願いして委員さんにやっていただいているものです。

白井代理者 昔は、趣味でやっている人がいて個人的に本を出していた人がいました。頼んでいるのならお金はかかるよね。

事務局長 昔は南史会や古文書研究会という団体があったが、後継者がいなくなって10数年たった今でも同じメンバーがやっている。そうなる中にはお亡くなりになられる方も出てくる。当局が心配しているのもいつまでその委員さんが活動できるのかという部分もあるんですよ。

梅本議長 印刷製本費は、2冊目のもの？

小嶋係長 そうです。

梅本議長 調査は終わったわけですね。

小嶋係長 はい。今は執筆活動中です。

梅本議長 そうすると来年度はそこまでは出来るということですね。
それであれば、800万くらいのうち半分くらいが人件費ということになりますかね。

小嶋係長 そうですね。

梅本議長 後は何を考えているんですか。まだ、相当な時間がかかりますよね。

小嶋係長 最終的には平成36年度末というかたちです。

梅本議長 36年まで800万～900万のお金が毎年かかる訳ですか。

小嶋係長 このままというわけにはいかないの、今後、委託を含め検討の必要はあると考えています。

梅本議長 当局側として考えると、特徴的な部分として神社編まで作っていただいて、後に関しては委託的にさっと処理できるものであれば、その計算をしてもらえばありがたいです。委託ならこれぐらいで出来る等の・・・36年までかけるとまだ、7～8000万かかるわけですよ。それはちょっと厳しいというわけですよ。委託でかけた場合にはそれが1000万とか2000万とかで出来るのであれば、そういう方向性も選択肢の一つだなと。ちょっと今のままではかけすぎという気がします。

小嶋係長 22年度から27年度の予算まで人件費が2800万かかっています。業者に頼んだ場合はどうなのか調べた結果、ある業者ですと6年間で4600万という数字が出てきています。

梅本議長 それで全部終わっているということですよ。今までどれくらいかかっているんですか。

小嶋係長 5年かかっていますので、36年までに8000万円はかかるということ・・・

梅本議長 そうなる、倍はかかるわけですよ。それを考えたときに時間も長すぎると思いますよ。果たしてこのままいいものかという疑問が出てくる。

白井代理者 人口はどんどん減るしね。

梅本議長 来年度すぐということではなく、来年度のこの予算は、仕方ないという気です。ただ、再来年度からは、教育委員会のほうでも、まずいだろという意見にしていただければありがたいと、あまり長い期間かけて作るのはどうなのかなと・・・

白井代理者 寺院は終わって、神社が来年ということか・・・その辺で一度休憩してみたらどうか。

梅本議長 そこで、もう一度見直しをして、新年度はこのかたちでいって終了させてもらって、翌年度はもう次の段階に入ってしまうという、いわゆる編さんを頼んでしまう、委託してしまうというそういう方向で、2～3年で処理してしまうということも考えて・・・

小嶋係長 会長と話した際には、今後はスピードアップできるとの話であった。

梅本議長 ただ、今言ったように3年かかるとかいう話だと、委託業者がやれば1年とかで終わってしまうと思うので・・・委員長とも話をしてください。私の方でも委員長と話をしますが、教育委員会でもそういう意向であるということをかたちを作っていただければ話しやすいんですけどね。

あと何か、皆さんのほうで予算のことで何か・・・

教育というのはほんとは予算をいくらでも付けてあげたい部分です。福祉と同じでという部分で。中々町としても厳しい部分で・・・

園庭開放事業は非常にいいなという感じがします。公園を作ることも出来ないし・・・ふるさと公園も無理ですかね。

白井係長 この事業のコンセプトはお母さんと未就学児が安心して遊べる場所、未就学児専用公園ですよ。ふるさと公園はグラウンドゴルフやウォーキング、小学生がボール蹴ったりしているもので・・・

白井代理人 事故のケースだけは想定をしておかないと・・・

梅本議長 そのとおり。

事務局長 せっかくの機会ですので、ざっくばらんなお話でも結構です。

梅本議長 こども園、幼児教育に関しても、公共がずっとやっていくというのが果たしてどうなのかなという・・・例えば賀茂郡の中でこども園とかそういうものを公共的に運営しているところは、南伊豆と他には・・・

事務局長 西伊豆が確かそうだったような・・・

萩原委員 賀茂郡では西伊豆と南伊豆ですね。

梅本議長 そういう方向性も今後見つけていければいいのかなという気もしているんですが・・・ただ、それによって幼児教育の質が落ちていくというのは非常に困るわけで、負担が増えることもそうですが、そういうことがないというのを検証で進めていってほしいと思っています。

他に無いようでしたら、議事については以上といたします。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。

事務局長 議事以外の部分では何かありますでしょうか。

《 特になし 》

事務局長

それでは、以上を持ちまして平成27年度第4回総合教育会議を終了いたします。

記事録署名人 梅本和照

記事録署名人 小澤義一

記事録署名人 大野孝行